



きせき

秋草学園高等学校 卓球部通信
令和元年12月1日
第395号



みんなのために生きる

———ことを学ぶ時期———

ジャン＝ジャック・ルソーは著書エミールの中で0歳から15歳は自分のために生きることを学ぶ時期。そして、15歳～20歳はみんなのために生きることを学ぶ時期と述べています。高校生はすでに15歳になっていますから、当然みんなのために生きることを学ぶ時期ということになります。

さて、秋草の卓球部員はどうでしょう。現在みんなのために生きることを学んでいるでしょうか？みんなが来る前に少しでも早く来て卓球台を出す。自分の練習する台だけでなく、みんなの台も準備する。これもみんなのために生きることを学ぶ機会と考えます。



数年前修学旅行の代休で午前中授業の無い選手が早く体育館に来ているのに、部室でおしゃべりして準備をしないのです。そして、みんなが集合してから台を出し始めるのです。私はその選手2人を叱りました。でもその2人は叱られた理由を理解したのでしょうか？とにかく自分のことだけを考えて生きる昨今。この時期にみんなのために生きることを少しでも学んでほしいところです。

整理整頓を心掛けましょう!!

準備を急いで早く練習を!

隣の剣道部は4時前に10人も体育館にいて準備。卓球部は0人。そこで誰が何時に来たか、記録することにしました。その結果、大分早く体育館に来るようになりました。

しかし、つぶさに見ると一生懸命早く来る選手とそうでない選手がいるような気がして誰が一番に来たか40日間のデータを集計しました。その結果1番にM選手の24日と2番のS選手の17日を大きく引き離しています。誰よりも早く来て台を出そうとしているのがわかり心が洗われます。

今後の予定

12月6日(金)～8日(日)

海外遠征1次選考会

於 愛知県豊田市

参加者 武川・大澤・杉山光

引率者 古川・染谷

14日(土) 15日(日)

県ジュニア選手権シングルス

(東京選手権県予選)

於 上尾運動公園

どの日に参加するか未定